

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年5月12日

上場会社名 株式会社イントラスト 上場取引所 東
 コード番号 7191 URL https://www.entrust-inc.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 太田 博之 (TEL) 03(5213)0250
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,626	15.6	1,021	21.3	1,026	22.1	687	21.9
2019年3月期	3,136	6.3	842	9.0	840	11.7	564	10.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	30.93	30.78	22.0	23.4	28.2
2019年3月期	25.44	25.28	21.2	22.3	26.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,726	3,376	71.4	151.46
2019年3月期	4,038	2,874	71.2	129.49

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,375百万円 2019年3月期 2,874百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	560	△287	△154	3,017
2019年3月期	553	△128	△137	2,899

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00	155	27.5	5.8
2021年3月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00	200	29.1	6.4
2021年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		30.2	

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,030	18.5	502	0.5	503	0.1	336	0.0	15.05
通期	4,250	17.2	1,100	7.6	1,103	7.5	740	7.6	33.12

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	22,288,522 株	2019年3月期	22,194,522 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	138 株	2019年3月期	77 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	22,227,121 株	2019年3月期	22,172,658 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料については、2020年5月12日(火)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(決算説明会について)

機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から開催を中止することといたしました。つきましては、決算説明の動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な下押しが始まっており、今後の景気の先行は厳しい状況が見込まれております。

当社の関連業界である住宅関連業界においては、足元の賃貸住宅の新設着工戸数は、前期比で減少が続いておりますが、世帯数の増加に伴いストックとしての貸家戸数は増加が見込まれております。また、賃貸物件における家賃保証会社の利用割合についても増加傾向にあります。

このような事業環境のもと、当社はこれまで培ってきた家賃債務保証のノウハウを活かし、家賃債務保証を含む様々な分野における独自のサービスの開発・提案・販売に取り組んでまいりました。

保証事業においては、家賃債務保証の新規契約が順調に推移したほか、販路拡大の取り組みが奏功し、医療費用保証が伸びました。また、養育費保証については、次世代市場を創出すべく、自治体との取組みを推し進めるとともに、BtoCマーケティングのチャンネル構築に着手いたしました。

ソリューション事業においては、主力のC&O（コンサル&オペレーション）サービスが堅調に推移したほか、保険デスクサービスにおいて、少額短期保険の取扱いをスタートさせるなど、取扱件数の増加に注力いたしました。

この結果、売上高に关しましては、保証事業の売上高は、1,796,598千円（前期比20.4%増）、ソリューション事業の売上高は、1,830,253千円（前期比11.3%増）となり、合計で3,626,851千円（前期比15.6%増）となりました。

営業利益に关しましては、売上の増加に伴う費用の増加を一定水準に抑制できたことにより、営業利益率が向上した結果、1,021,906千円（前期比21.3%増）となりました。経常利益は1,026,003千円（前期比22.1%増）、当期純利益は687,475千円（前期比21.9%増）となりました。

なお、当社は総合保証サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産の部

当事業年度末における総資産は、4,726百万円となり、前事業年度末に比べ688百万円増加となりました。

流動資産は、4,100百万円となり、前事業年度末に比べ449百万円増加となりました。これは、貸倒引当金が24百万円増加したものの、現金及び預金が117百万円、売掛金が39百万円、立替金が293百万円増加したことなどによりです。

固定資産は、626百万円となり、前事業年度末に比べ238百万円増加となりました。これは、無形固定資産が76百万円、投資その他の資産が173百万円増加したことなどによりです。

② 負債の部

当事業年度末における負債合計は、1,350百万円となり、前事業年度末に比べ186百万円増加となりました。

流動負債は、1,303百万円となり、前事業年度末に比べ199百万円増加となりました。これは、前受収益が70百万円、未払金が66百万円、未払法人税等が51百万円増加したことなどによりです。

固定負債は、47百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少となりました。これは、固定負債その他が12百万円減少したことなどによりです。

③ 純資産の部

当事業年度末における純資産合計は、3,376百万円となり、前事業年度末に比べ501百万円増加となりました。

これは、配当の支払により166百万円減少したものの、当期純利益687百万円を計上したことにより、利益剰余金が同額増加したことなどによりです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、3,017百万円となり、前事業年度末に比べ117百万円増加（前事業年度は286百万円の増加）となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、560百万円(前事業年度は553百万円の増加)となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益1,026百万円、未払金の増加額59百万円、前受収益の増加額58百万円などです。一方、主な減少要因は、立替金の増加額293百万円、売上債権の増加額39百万円、法人税等の支払額296百万円などです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、287百万円(前事業年度は128百万円の減少)となりました。主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出200百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出93百万円などです。一方、主な増加要因は、有形及び無形固定資産の売却による収入3百万円、基金の回収による収入2百万円などです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、154百万円(前事業年度は137百万円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額166百万円などです。

(4) 今後の見通し

当社の主力商品である家賃債務保証を取り巻く環境は、民法改正による個人連帯保証の極度額の明記が義務化されることなどを受け、今後も保証会社の利用割合は高まることが予想されております。また、当社のサービスの対象となる賃貸住宅の市場動向は、人口の減少が見込まれるものの、少子高齢化・核家族化の影響を受け、世帯数の増加が見込まれており、総賃貸住宅数の増加が見込まれております。

このような市場環境の中、当社は総合保証サービス会社として、保証事業及びソリューション事業を推進してまいります。また、新たな分野や未開拓の市場を開拓するとともに、家賃債務保証で培ったノウハウを横展開し、業務上の課題を解決する専門的な業務支援サービスであるソリューションサービスの提案・販売にも取り組んでまいります。

以上から、次期(2021年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高4,250百万円(前期比17.2%増)、営業利益1,100百万円(前期比7.6%増)、経常利益1,103百万円(前期比7.5%増)、当期純利益740百万円(前期比7.6%増)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大は、賃貸住宅の市場動向、入居申し込み件数及び当社の新規顧客等への販売活動に少なからず影響があるものと見込まれております。また、保証事業については、代位弁済発生率や回収率に影響を及ぼす可能性があります。現時点において可能な限り上記の業績見通しに織り込んでおりますが、今後さらに新型コロナウイルス感染症の経済社会に対する影響が拡大し、長期化した場合には、業績に影響を与える可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,899,792	3,017,605
売掛金	202,320	241,392
立替金	766,391	1,059,851
前払費用	219,547	243,446
その他	2,748	2,792
貸倒引当金	△440,616	△464,944
流動資産合計	3,650,183	4,100,143
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,121	75,127
減価償却累計額	△28,187	△34,587
建物(純額)	46,933	40,539
車両運搬具	16,440	—
減価償却累計額	△12,812	—
車両運搬具(純額)	3,627	—
工具、器具及び備品	41,994	40,224
減価償却累計額	△22,748	△22,869
工具、器具及び備品(純額)	19,246	17,355
有形固定資産合計	69,807	57,895
無形固定資産		
ソフトウェア	31,874	24,056
ソフトウェア仮勘定	30,000	114,500
無形固定資産合計	61,874	138,556
投資その他の資産		
投資有価証券	100,222	255,288
長期前払費用	2,669	1,051
繰延税金資産	17,681	37,815
その他	135,948	135,852
投資その他の資産合計	256,521	430,007
固定資産合計	388,203	626,459
資産合計	4,038,387	4,726,603

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,785	12,519
未払金	142,215	208,719
未払費用	2,625	2,820
未払法人税等	173,913	225,239
前受金	20	1,411
預り金	20,353	6,654
前受収益	645,988	716,604
賞与引当金	41,030	43,653
保証履行引当金	75,923	85,592
その他	107	90
流動負債合計	1,103,962	1,303,306
固定負債		
資産除去債務	41,754	41,885
その他	18,101	5,377
固定負債合計	59,855	47,263
負債合計	1,163,818	1,350,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,006	1,040,022
資本剰余金		
資本準備金	820,575	826,591
資本剰余金合計	820,575	826,591
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,013,272	1,534,207
利益剰余金合計	1,013,272	1,534,207
自己株式	△62	△107
株主資本合計	2,867,791	3,400,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,275	△24,900
評価・換算差額等合計	6,275	△24,900
新株予約権	502	220
純資産合計	2,874,569	3,376,033
負債純資産合計	4,038,387	4,726,603

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,136,794	3,626,851
売上原価	1,542,374	1,731,719
売上総利益	1,594,419	1,895,131
販売費及び一般管理費	752,117	873,225
営業利益	842,302	1,021,906
営業外収益		
受取利息	26	29
有価証券利息	—	1,382
受取配当金	24	718
基金返還益	—	2,000
雑収入	—	16
営業外収益合計	50	4,147
営業外費用		
固定資産除却損	2,077	49
雑損失	0	0
営業外費用合計	2,077	49
経常利益	840,275	1,026,003
特別利益		
固定資産売却益	—	271
特別利益合計	—	271
税引前当期純利益	840,275	1,026,275
法人税、住民税及び事業税	276,170	345,175
法人税等調整額	△62	△6,374
法人税等合計	276,108	338,800
当期純利益	564,166	687,475

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	1,030,870	817,439	817,439	593,144	593,144	—	2,441,455	
当期変動額								
新株の発行	3,136	3,136	3,136				6,272	
剰余金の配当				△144,039	△144,039		△144,039	
当期純利益				564,166	564,166		564,166	
自己株式の取得						△62	△62	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	3,136	3,136	3,136	420,127	420,127	△62	426,336	
当期末残高	1,034,006	820,575	820,575	1,013,272	1,013,272	△62	2,867,791	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	502	502	649	2,442,607
当期変動額				
新株の発行				6,272
剰余金の配当				△144,039
当期純利益				564,166
自己株式の取得				△62
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	5,772	5,772	△147	5,625
当期変動額合計	5,772	5,772	△147	431,961
当期末残高	6,275	6,275	502	2,874,569

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	1,034,006	820,575	820,575	1,013,272	1,013,272	△62	2,867,791
当期変動額							
新株の発行	6,016	6,016	6,016				12,032
剰余金の配当				△166,540	△166,540		△166,540
当期純利益				687,475	687,475		687,475
自己株式の取得						△44	△44
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	6,016	6,016	6,016	520,934	520,934	△44	532,922
当期末残高	1,040,022	826,591	826,591	1,534,207	1,534,207	△107	3,400,713

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	6,275	6,275	502	2,874,569
当期変動額				
新株の発行				12,032
剰余金の配当				△166,540
当期純利益				687,475
自己株式の取得				△44
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△31,175	△31,175	△282	△31,457
当期変動額合計	△31,175	△31,175	△282	501,464
当期末残高	△24,900	△24,900	220	3,376,033

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	840,275	1,026,275
減価償却費	31,592	31,554
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,085	24,328
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△156	2,623
保証履行引当金の増減額 (△は減少)	12,437	9,669
受取利息及び受取配当金	△50	△2,130
固定資産売却損益 (△は益)	—	△271
固定資産除却損	2,077	49
基金返還益	—	△2,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,809	△39,072
前払費用の増減額 (△は増加)	△20,353	△22,281
未収入金の増減額 (△は増加)	575	531
立替金の増減額 (△は増加)	△82,697	△293,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	66	10,734
未払金の増減額 (△は減少)	△12,037	59,503
前受収益の増減額 (△は減少)	48,458	58,305
その他	7,857	△9,835
小計	808,320	854,523
利息及び配当金の受取額	50	1,545
法人税等の支払額	△255,287	△296,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,083	560,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△30,029	△93,494
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	3,899
投資有価証券の取得による支出	△90,255	△200,000
差入保証金の差入による支出	△12,235	△250
差入保証金の回収による収入	3,992	346
基金の回収による収入	—	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,527	△287,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	6,125	11,750
自己株式の取得による支出	△62	△44
配当金の支払額	△143,864	△166,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,802	△154,755
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	286,753	117,812
現金及び現金同等物の期首残高	2,613,039	2,899,792
現金及び現金同等物の期末残高	2,899,792	3,017,605

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)及び当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業は、総合保証サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	保証	ソリューション	合計
外部顧客への売上高	1,492,494	1,644,299	3,136,794

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
大和ハウスフィナンシャル株式会社	753,873	総合保証サービス事業
大和リビング株式会社	693,012	総合保証サービス事業

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	保証	ソリューション	合計
外部顧客への売上高	1,796,598	1,830,253	3,626,851

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
大和リビング株式会社	1,046,480	総合保証サービス事業
大和ハウスフィナンシャル株式会社	551,423	総合保証サービス事業

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していませんので、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	129.49円	151.46円
1株当たり当期純利益金額	25.44円	30.93円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	25.28円	30.78円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	564,166	687,475
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	564,166	687,475
普通株式の期中平均株式数(株)	22,172,658	22,227,121
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	147,219	108,320
(うち新株予約権(株))	147,219	108,320
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。